


●INDEX

文化のモザイク大阪	1	下門 直人
巻頭言	5	佐々木 雅幸
グローバル化と文化多様性		
争論 文化事業、助成か自立か	6	
「儲かる文化」と「儲からない文化」		
～文楽協会問題を考える		木津川 計
文化政策と、グラスルーツからの応答		
～大阪の現代芸術事業のここ10年の歩みから		吉澤 弥生
補助金から自立へ		
～苦闘する日本センチュリー交響楽団		望月 正樹
特集 生協と「文化」	31	
●戦後日本の大衆文化と勤労者組織		高岡 裕之
●くらしの中に音楽を		
～京都にみる労音の発展・衰退・再生～		加賀美 太記
●「東京俳優生活協同組合＝俳協」を訪ねて		辻 由子
●被災地に映画生協あり		
～みやこ映画生協の復興支援とその存続をかけた取り組み～		浜岡 政好
●大学生協・書籍部の様子から見る学生文化の変遷		山野 薫
くらしと協同の本	52	
ルース・フィネガン 著 『隠れた音楽家たち』		岡田 暁生
垣内恵美子・林 伸光 著 『チケットを売り切る劇場』		岸本 喜樹朗
牧野 守 監修 『ファシズムと文化新聞「土曜日」の時代』		雨宮 幸明
追悼 戸木田嘉久先生を偲んで	58	
		三好 正巳・久保 建夫
査読論文	61	
		青木 美紗
編集後記	75	



表紙紋様 「凧（遊び道具）の文様」
田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）

**小紋
撰趣**

凧の歴史は江戸時代に始まりました。江戸時代には、遊び道具や祭りに用いる面、農耕具等、身近な生活性のある道具類を着物のデザインに多く取り入れていました。そして遊び道具や生活様式に変化が生まれると、いち早くその変化を図柄の中に取り入れ、新たな図柄の意味と共に、着物のデザインを創り上げてきたのです。今回の凧の図柄には、蜂・やっこ・扇子・大の字・足や凧紐が描かれています。大空に舞い上がる凧の姿に、発展や継承の願いを込めてデザインしたものではないかと思われまふ。